

1年半の治療中、松本先生の論文を熟読し

心身ともに回復された方

「病気の原因を知り完治へ」 椎葉 36歳

2015年10月6日

きっかけ

わたしが松本医院を知ったのは、妻の勧めからでした。妻は数年前、サービス業をしていました。当時の妻の仕事は忙しく、通勤先まで距離が遠かったこともあり、朝の4時ごろに起き、帰ってくるのが終電の時もありました。また、食事や睡眠も十分ではありませんでした。そのせいか、全身にアレルギーのような皮膚炎をおこすようになり、仕事にも支障が出て、休職することになりました。

いくつかの病院で治療を受けましたが、あまり効果がなく、インターネットで見つけた松本医院のホームページに書かれていた松本院長の考えや、患者さんの手記を拝見し、感銘を受け松本医院での治療を決意しました。

3年ほどの治療の結果、妻のアレルギーは完治しました。その経過があったので、私も妻の勧める松本医院の門をたたくことになりました。

私は妻から松本医院を勧められるまで、いくつかの病院での治療を試みましたが、治まることなどなく、かえって症状がひどくなるようにさえ感じていました。

症状と他の病院

過去を振り返って思い出すと、私のアレルギー症状は、中学三年生の2月の下旬に患った風邪をきっかけに始まったものでした。外出すると目が痒くなり、くしゃみが出るといった、いわゆる花粉症のような症状で、そのときは「えらい長引く風邪やな。」としか感じませんでした。しかし、その翌年から必ず、2月の後半に風邪をひき、その後、花粉症のような症状が出ました。そして、27、8歳まで、年により酷さの差はあれど、治まることはありませんでした。

これといった治療はせず、市販の点鼻薬を使用していました。たまに市販の飲み薬も服用していました。これらは一時的な効果はあっても、治るといようなものではありませんでした。

27、8歳以降の症状は、花粉の時期になると体が痒くなるというものでした。アトピーのような症状で、そのかゆい箇所は年々変わっていきました。た

しか首、脇の下、腰、足の付け根、ひざ裏、くるぶしの内側、足の指先の間へと、上から順に、毎年かゆい箇所が下がっていったように思います。

いずれの箇所も、掻きむしって透明の液体が出る、ちょっと収まって、かさぶたになる。また痒くなって掻きむしる。これの繰り返しで、徐々に皮膚が黒ずんでいく。痒くなる時間帯も大体決まっており、酷くなるのは仕事の終わった18時～21時頃と、寝るときでした。皮膚に症状が出だしたときから、何回か病院に行きました。

始めは家の近くの皮膚科でした。その時は足にできていたので、水虫と疑われ、皮膚をとって細菌検査をしました。結果は水虫ではなく、原因不明。冬だったので寒冷蕁麻疹という症状だと断定されました。抗生物質の入った塗り薬を与えられ、症状が出れば塗っていましたが、全く良くなりませんでしたので、2、3回塗って捨てました。

その後、アレルギーには漢方薬が効くというインターネット上の記事を見つけ、家の近くにあった漢方を取り扱う皮膚科と内科をやっている病院に行きました。

どのような薬を出されたかは記憶にないのですが、タケダやツムラの粉末の漢方薬でした。これも半年ほど毎日飲み続けましたが、一向に良くならなかったのをやめました。

このあたりで妻に教えてもらった松本医院にかかるようになりました。確か33歳の時でした。この時はもう花粉の時期とか関係なく、常にどこかが痒かったです。

松本医院

初めて松本医院にかかった日、血液検査をしました。よくよく考えると、今まで行った病院では血液検査をしなかったように思います。私の症状や話を聞いて、先生は「免疫力が落ちているだけ。絶対治るよ。安心して。」とはっきり言われました。「変な先生やな。ほんまかい。」と思ったけど、ここまで言う先生は会ったことなかったので、試してみようと思いました。

検診が終わって出されたのは漢方の煎じ薬と赤、黄色の塗り薬でした。煎じ薬はすぐにはわからなかったけど、赤、黄色の塗り薬。これが結構効いた。かゆみが足のかかと付近に定着して、ジュクジュクとボロボロ具合がかなり酷かったとき、この二つの塗り薬は他の薬よりも、はっきり効いているのがわかりました。

夜寝る前にかかるとに塗り薬を塗った箇所ラップで巻いて密着させ、靴下をはいて寝ると、朝には大体きれいに治まっていました。

2、3か月たって煎じ薬の方も徐々にですが、効果を感じられるようになりました。「これは続ける価値がありそうだ」という気になりました。そして松本医院で治療を開始して一年半経った現在、ほぼ完治したような状態だと思います。体も今までのような症状はなく、痒くなってもすぐにひきます。先生に

も「血液検査の結果も良くなった。今ある煎じ薬が最後にしましょう。」と言ってもらえました。

この松本医院にかかった1年半の間に、先生の論文を読み、自分でも何が原因だったかを調べてみてわかったことは、『どんな症状にも原因があること』。食事や、生活環境（職場、空気、水）ストレスも原因の一つだと思います。知らずに体内に取り入れてしまっている不必要な何かを、体は必死に出そうとしている生理的現象、それが痒みのような症状であると思います。他の病院で処方された薬は、出てきた症状を抑制するようなものが主で、根本的な治療ではありません。松本医院での治療は、その体の正常な働きを、より高めるように手助けするものだと思います。

治療の方向性を示してくれた松本先生と松本医院を紹介してくれた妻、そして頑張った自分の体に感謝したいと思います。ありがとうございました。